

1. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率(%)	年度	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	間伐の効率性	22.31	人・日/ha	H27	20.43	人・日/ha	R3	22.18	92%	R3	達成状況報告 令和4年7月4日
森林の多様な利用・緑化の推進												
優良種苗の確保	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗の生産量	0	千本	H28	50	千本	R3	52	104%	R3	達成状況報告 令和4年10月18日
望ましい林業構造の確立												
特用林産の振興												
木材利用及び木材産業体制の整備推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
林業担い手等の育成確保												
市町村広域連携支援												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進	本事業により林業機械を整備したことにより、ha当たりの人役が減少し、間伐の効率性が向上した。	今後も安定的に事業を実施していくためには、森林の状況に応じた最適な使用機械の検討や森林の集約化及び路網整備を計画的に実施していく必要がある。
森林の多様な利用・緑化の推進		
優良種苗の確保	需要拡大に努めた結果、目標生産量を達成することが出来た。	引き続き、コンテナ苗の需要拡大に努め、生産量の増大に努める。
望ましい林業構造の確立		
特用林産の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
林業担い手等の育成確保		
市町村広域連携支援		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述すること。
- 2 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記入すること。
- 4 行については、適宜加除すること。